



**施政方針要旨**  
真岡市長 石坂真一

平成30年度は、第11次市勢発展長期計画「増補版」に掲げる5つのプロジェクトの着実な推進、4年目となる「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の展開による人口減少問題への対応、政策評価や市民行政評価などを踏まえ策定した、平成30年度行政経営方針に掲げた重点施策の反映、市庁舎および新庁舎周辺整備事業の推進や新産業団地整備に向けた調査など、議会各会派からの建議要望や市民の皆さまからの意見等の反映、これらを念頭に置き、初めての予算編成にあたり、「JUMP UP もおか」そして「だれもが、わくわく、する街づくり」を目指し、市民の皆さまが、希望を持って、楽しさを実感し、安心して生活できる予算編成に努めました。

平成30年度 当初予算

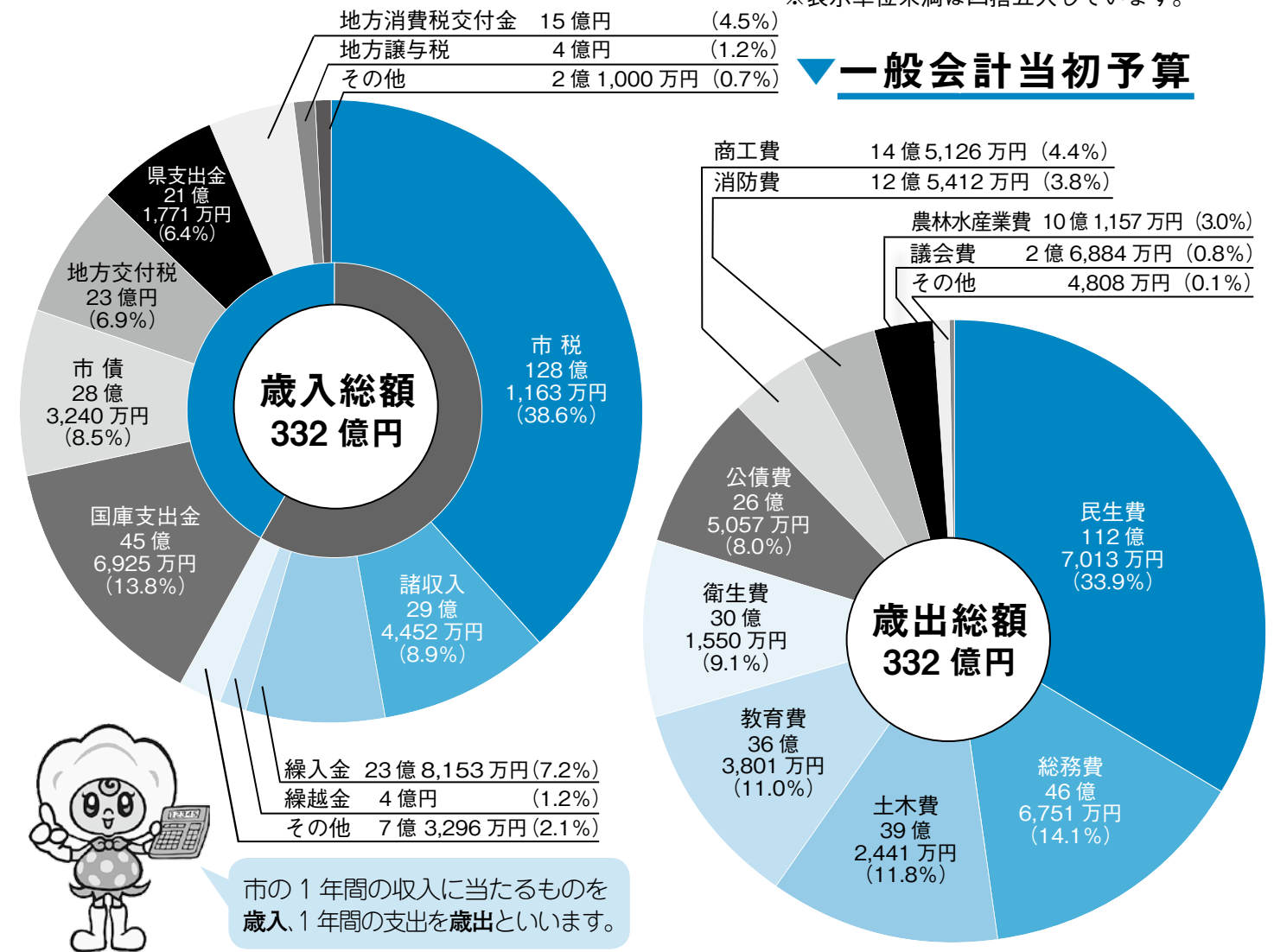
一般会計 332億円  
特別会計 184億4,643万円  
水道事業会計 23億6,407万円

# 540億1,050万円

平成30年第1回市議会定例会で決定した真岡市の平成30年度当初予算の概要と主要事業についてお知らせします。

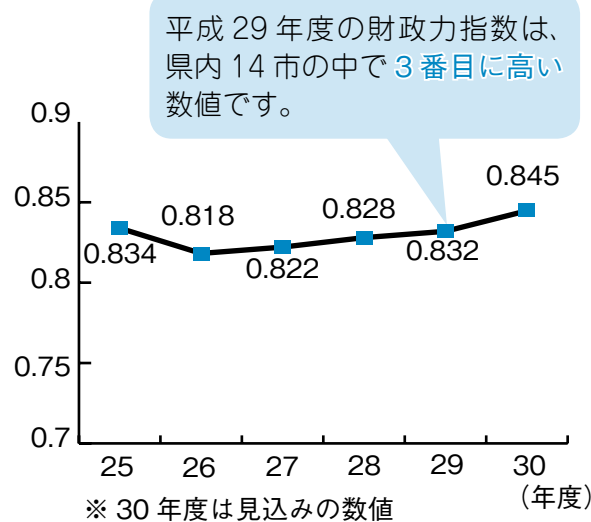
※表示単位未満は四捨五入しています。

一般会計当初予算



財政力指数の推移

※財政力指数  
市や町などの財政上の能力を示す指数で、1を超えるか1に近いほど財政力がある。



会計別予算額

区分	平成30年度予算額	対前年度増減率
一般会計	332億円	2.8%
特別会計		
国民健康保険	90億328万円	▲16.4%
後期高齢者医療	7億3,627万円	11.2%
介護保険(保険事業勘定)	59億2,091万円	4.1%
介護保険(介護サービス事業勘定)	1,201万円	9.9%
インターチェンジ周辺開発事業	—	皆減
公共下水道事業	22億7,883万円	6.9%
農業集落排水事業	4億9,513万円	▲7.2%
計	184億4,643万円	▲7.0%
水道事業会計	23億6,407万円	4.0%
合計	540億1,050万円	▲0.7%

※インターチェンジ周辺開発事業特別会計は、平成29年度をもって廃止となりました。

【問い合わせ】企画課財政係  
☎ 83・8104 FAX 83・5896  
E-mail zaisei@city.moka.lg.jp

用語解説

- 【歳入】
- 自主財源・・・市税や市の施設の使用料など、市で集めることのできる財源
  - 依存財源・・・国や県から一定の額を交付されたり、割り当てられたりする財源
  - 市税・・・市民税や固定資産税など、皆さまに納めていただく税金
  - 国・県支出金・・・社会保障や教育、公共事業など、国や県が使い道を決めて交付するお金
  - 市債・・・国や県、金融機関などから借り入れるお金
  - 地方交付税・地方消費税交付金・地方譲与税  
・・・所得税や消費税など国に納めた税金の中から、一定の基準で各地方自治体に配分されるお金

【歳出】

- 民生費・・・高齢者や障がい者、児童などの福祉全般に使うお金
- 総務費・・・市役所の一般的な事務にかかるお金
- 土木費・・・道路、公園、河川、市営住宅などを整備・管理するお金
- 教育費・・・小・中学校、公民館、図書館など教育全般の運営をするお金
- 衛生費・・・予防接種や健康診査、ごみ処理などにかかるお金
- 公債費・・・市が借りたお金の返済金
- 商工費・・・商工業の振興、観光事業などにかかるお金
- 消防費・・・消防活動、消防施設の整備などのお金
- 農林水産業費・・・農業や畜産の振興のためのお金
- 議会費・・・議会の運営にかかるお金